

モモ病害虫の発生状況（8月）

(1) モモせん孔細菌病

新梢葉での発生ほ場割合は平年並の状況でした（図1）。秋期に降水量が多いと、翌年の春型枝病斑が多くなる傾向にありますので、秋期防除を徹底して、越冬菌密度の低下を図りましょう。

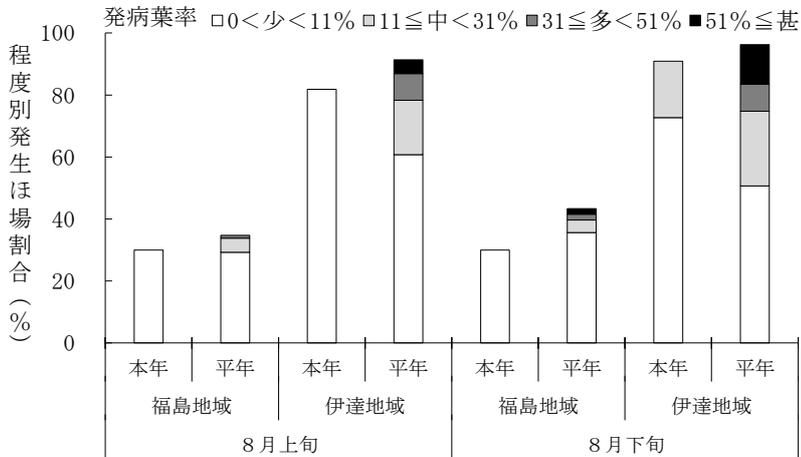


図1 モモせん孔細菌病の新梢葉での発生状況（8月上旬、下旬）

(2) モモハモグリガ

新梢葉での発生ほ場割合は、伊達地域でやや高いものの、発生程度は、低い状況でした（図2）。

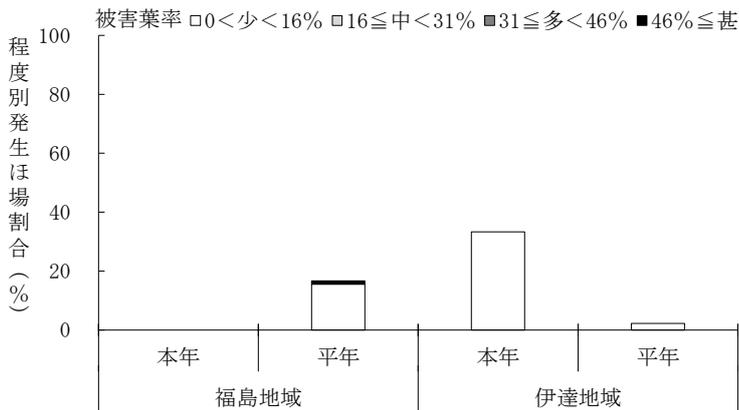


図2 モモハモグリガの発生状況（8月下旬）

(3) ハダニ類

新梢葉での寄生ほ場割合は、やや高いものの、発生程度は、低い状況でした（図3）。

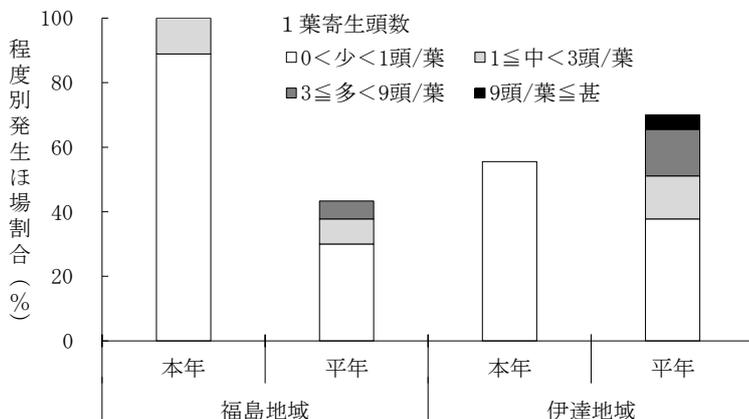


図3 ハダニ類の発生状況（8月下旬）